

# 個人競技でも、チームプレイ。～繋がる～

インタビュー | きっかけはスポーツ団体に関わってみたかった

## 略歴

医療器具メーカー、カメラメーカー、カメラレンタルサービスなど、その時その時でのやりたい仕事にフォーカスする意味合いで、これまで転職は何度かしています。

その中で2022年にボランティアプロジェクトを通じてJPPFを知り、そのプロジェクトに参加したことからお世話になっています。プロジェクト自体は3ヶ月の有期だったのですが、おもしろさとやりがいを感じたので継続して関わらせてほしいと志願しました。以来、色々お仕事をいただいて今日に至っています。

ボランティア→大会など案件だけのスタッフ→事務局員としての業務委託という流れで、2025年の1月末で企業勤務を辞め今ではどっぷり漬かっています。

## きっかけ

人生でやりたいこととして、いずれスポーツに関する仕事をしたいと思うようになっていたところに、たまたまSNSの広告が目に入ったことがきっかけでした。

3ヶ月の期間限定でのボランティアプロジェクトの募集で「二枚目の名刺」という団体さんの企画だったのですが、最初は連盟はおろか競技についても何も知らずでした。でも3ヶ月だし違ったらそれでもいいやと思って申込みをした次第です。

違ったらやだなというよりも「自分で動かないと何も変わらない」という気持ちの方が大きかったこともありました。

## 連盟を活用して 自分のやりたい事を実現



佐藤 勇介さん

## だんだんと安心感が生まれ 得意分野を生かせる充実感へ



## 第一印象

その「二枚目の名刺」でのプロジェクト内の打合せでは自由に意見を受け入れてくれる印象がありました。

内緒話ですが、最初のころ事務局長は冷静でサイボーグのような人という印象もあり、強化委員長たちも正直怖かったので、意見はあまり自分から言う方ではなかったのです。

でも打ち合わせを重ねるごとに、段々と安心感をもって話せるようになり、プロジェクト内で参加したイベントでは人前で話すことが得意分野ということもあって大役を全うでき、充実感がありました。

## 選手との関わりでのつまずき

練習などにお邪魔して、「誰だこいつ」って思われているのかなという心配もありました。また、これまで周りに車いすユーザーの方もいなかったのどう接していいかもよくわかってませんでした。最初のころは、障がい者ということで「何か助けなきゃ」という思い込みもあったのですが、なんせそこはパワーリフターということで自分より力持ちな訳で、できることもなかったのです。。。

そんな中で選手とお話しする機会も増え、一緒に飲みにも行き、段々と接し方が掴めてきたようにも思っています。人間としては何も変わらない、ただ車いすユーザーということのできることでできないことがある、だからそのできないことだけをサポートするという感覚で関わらせていただいています。カフェテリアで高いところのお皿が見えない、取れないとかですね。

# 個人競技でも、チームプレイ。～繋がる～

｜インタビュー｜ きっかけはスポーツ団体に関わって見たかった

## 作りあげていくやりがいを感じている

### 事務局としてのやりがい

事務局長の最初の印象は僕の勝手な思い込みで、今では小さなことでもお互いに相談できる協力関係になっている実感があります。怒られるからフォローしている訳ではありません(笑)

実際、事務局としては事務局長と自分の2人体制なので風通しもよく、また強化委員長のお人柄もあって「おもしろそうだね」と割と制限なく許して下さる自由な雰囲気があります。

その中で、自分が得意なことを重宝して下さったりチャレンジする機会もいただけるなど、自分のリソースがお役に立てることもありますし、連盟自体がまだまだ発展途上ということもあるので作り上げていくやりがいも感じています。



### 今後の目標

今のお仕事として、連盟に関わる人を増やすというミッションをいただいています。

第一には協業を通じてご支援をいただける企業さまや団体さまを見つけていくお仕事なのですが、同時に、一緒に活動することでより効果が出る、広報やイベント企画のお仕事にも関わらせていただいています。

連盟に関わって下さる人が増えたり資金面も充実することでできることが増え、選手へのサポートも増えることでメダル獲得につながるようにと思っています。

### 最後にひとこと

現在は自分たちの考えられる範囲での取り組みになっていますが「こんなことで力になれる」というお話も大歓迎です。ご自身の「やりたいことを試す場」として連盟を活用いただければと思いますので、いろんな方の世界がまじりあって想像の外側に世界が広がっていったらいいなと思っています。ぜひお声掛けください！

## 選手体験の機会も

パラのルールで健常者と一緒に競うイベント大会を企画・実施して、選手としても参加してみました。



2023年10月1日(日)「福島オープンパラ・パワーリフティングチャレンジ記録会2023」